

武蔵野とは どの辺りを指す？

区分なし小説でも様々

東京にいると、いろいろな場面で「武蔵野」という名称に出会う。武蔵野市や武蔵野公園、武蔵野大学など。そこで疑問に思った。武蔵野とはどの辺りのことなのだろうか。(井上勇人)

東京探Q



まずは、広辞苑で調べた。「関東平野の一部。埼玉真川越以南、東京都府中までの間に広がる地域。広義には武蔵国全部」と記されている。漠然とした感を受ける。では

広義でいうところの、武蔵国はどこにあったのだろうか。

全国の地名の由来を研究する「日本地名研究所(川崎市)



事務局長の菊地恒雄さん(写真)を訪ねた。お

よそ、埼玉の大部分、島部を除く東京、横浜市や川崎市といったところが武蔵国という。

それでは、この辺りが広義の武蔵野ということか……と思いきや、そうでもないらしい。菊地さんは「行政で区分されていないため、地理学や文学など、分野によって武蔵野の範囲は違う」と語る。つまり、明確に示すのは難しいようだ。

なお、菊地さんは、武蔵野台地一帯を武蔵野と考えている。多摩川と荒川、埼玉を流れる入間川に囲まれ、東京と埼玉にまたがっている台地だ。江戸時代には街道が整備されて物流が盛んになり、独自の文化が築き上げられたからだという。一方、「自分なりにどこが武蔵野かを考えてみてほしい」とも話している。

「万葉集」や「源氏物語」など、奈良や京都が都だった時代の文学作品にも、遠く離れた武蔵野の名称が登場する。近現代では、武蔵野は多くの文学作品の舞台になってきた。



武蔵野市の上空から望む武蔵野(市提供)



園木田独歩が散策した境山緑地の雑木林

独歩、太宰、清張…「独自の武蔵野」

武蔵野大学文学部の土屋忍教授(55)は写真によると、



園木田独歩(1907-1908年)の「武蔵野」は

多くの人たちの武蔵野観に影響を与えたという。独歩は現在の武蔵野市境にある「境山緑地」付近を散策したときの日記などを基に執筆した。

独歩はその著書で、東部では埼玉真川越市あたり、南部では丸子(川崎市)、西部では立川市といった場所を武蔵野として例示している。林と野原が入り乱れ、自然と生活が密接している場所として描かれている。

独歩のほかには、太宰治や松本清張らが、独自の武蔵野観を築いた。太宰にとっては現在の三鷹市から見た「夕陽」の風景が武蔵野だった。清張の武蔵野はJR中央線や京王線、西武線、それぞれを南北につなぐバス路線、さらに青梅街道から浮かび上がる一帯だった。

「場所がはっきりしていないからこそ、作家たちが自分なりのイメージで武蔵野を描いている」と土屋教授。「作家が描いた武蔵野が今はどうなっているのか。訪ねてみたい」と話す。



「武蔵野」の名を冠している武蔵野市は、どうしてこの名称になったのか。埼玉県飯能市の市立博物館学芸員の波田尚大さん(31)は写真(二つ)の説がある

もの、はっきりとした由来はわからなかった」と話す。波田さんは武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館の学芸員だったときに由来を史料で調べた。

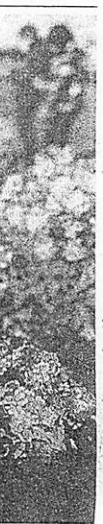
一帯には村が四つあった。1888年の市制・町村制公布を前に、北多摩郡役所から村名を決めるように通知され、武蔵野村となった。名称を決める過程で旧家の人が「武蔵野の野原にあるため、武蔵野村にする」と決めた。四つの村が武蔵野の原っぱの中にあり、平らな地形にある——との2説がある。

波田さんは一つ目については「伝聞だけで、文書が残っていない」と指摘。二つ目は文献に残っているが、「平らな地形にある」という部分の意味するところが判然としないという。

その後、武蔵野町を経て、1947年に武蔵野市となった。波田さんは「武蔵野村となった由来はわからなかったが、当時の環境や人々の暮らしに思いをよせてもらえば」と語る。

駄菓子屋 気軽に就労体験

もの来店が多くて気兼ねなく接客できる駄菓子屋の開設を決めた。



12年にオープンした。2・4秒の敷地に、夏はヒマワリ、春は菜の花を咲かせるときが、都がの昔の